

副学長/教授	最上 和幸	社会的養護Ⅰ・Ⅱ 社会の理解Ⅰ・Ⅱ 特別な教育的ニーズの理解と支援
略歴	<p>東北大学教育学部教育学科卒業（昭和61年3月） 東北福祉大学通信制大学院総合福祉学研究所修了（令和4年3月） 青森県立保健大学健康科学研究科健康科学専攻（博士課程後期）在学中</p> <p>青森県職員（昭和61年4月～令和4年3月） ・青森県中央児童相談所こども相談第二課長（平成16年4月～18年3月） ・青森県立子ども自立センターみらい指導課長（平成18年4月～平成22年3月） ・青森県八戸児童相談所長（平成31年4月～令和2年3月） ・青森県健康福祉部こどもみらい課長（令和2年4月～令和4年3月） 青森市立高等看護学院非常勤講師（令和3年9月～令和6年3月） 青森明の星短期大学子ども福祉未来学科長（令和4年4月～令和6年3月） 同 副学長（令和6年4月～）</p> <p>修士（社会福祉学）</p>	
研究業績	<p>【論文】 「生活保護ケースワーク分野の福祉職採用に関する一考察～X県での実態調査結果を基にして～」（共著）京都府立大学学術報告（公共政策）12, 77-90（2020年）</p> <p>【研究ノート】 「インクルーシブ保育に基づく教育課程と指導法の今日的課題－『気になる子』の支援に関する保育者の不安解消に向けて－」青森明の星短期大学紀要49, 13-22（2024年） 「『子どもの学習支援』における大学生ボランティアが行う支援の構造について－ひとり親家庭の子どもに対する学習支援活動の実践から」青森明の星短期大学紀要50, 21-29（2025年）</p> <p>【その他】 「子どもの貧困と学習支援の取組－子どもを真ん中にした地域づくりの可能性－」日本学校ソーシャルワーク学会東北ブロック「東北の学校ソーシャルワーク」7, 17-20（2018年） 「ひとり親家庭の離婚の原因等に関する調査に寄せて」（共同）『令和4年度ひとり親家庭の離婚の原因等に関する調査報告書』（2024年）</p> <p>【学会発表】 「ひとり親家庭の子どもたちに対する学習ボランティアの果たす役割」日本社会福祉士会「第23回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（石川大会）」（2015年） 「子どもの学習支援に見る『メンタリング』の機能について～大学生ボランティアへの意識調査結果から～」青森県立保健大学「青森県保健医療福祉研究発表会」・日本ヒューマンケア科学学会第12回学術集合同集（2019年） 「ケースワーカーと児童福祉司のソーシャルワーカー専門職性自己評価比較～X県の行政福祉職実態把握調査から～」（共同）青森県立保健大学「青森県保健医療福祉研究発表会」・日本ヒューマンケア科学学会第13回学術集合同集（2020年） 「子どもの学習支援における大学生ボランティアが行う支援の構造について～ひとり親家庭の子どもに対する学習支援活動の実践から～」日本司法福祉学会第22回大会－東京大会（2022年） 「青森県におけるスクールソーシャルワークの現状」（共同）東北学校保健学会（2024年）</p> <p>【ポスター発表】 「青森県社会福祉士会における『第2期中期計画』評価・『第3期中期計画』策定について」（共同）第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（2023年） 「ひとり親家庭の子どもを対象とした学習支援を行う学生サークルの活動内容と課題－青森サタディ☆くらぶでの実践を中心に－」（共同）青森県保健・医療・福祉研究発表会・日本ヒューマンケア科学学会第16回学術集（2023年）</p>	
専門分野 研究テーマ	<p>児童家庭福祉・社会的養護・子どもの貧困・教育と福祉の連携</p> <p>社会福祉士No. 7856（平成9年4月） 認定社会福祉士（児童・家庭分野）No. 294（平成28年4月） 認定社会福祉士制度スーパーバイザーNo. 15-121（平成28年4月） 保育士（青森県-022169）</p> <p>社会福祉士実習指導者講習会修了（2017年） スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程専門科目群担当教員講習会修了（2021年）</p>	
学会及び教育・社会活動等	<p>日本司法福祉学会会員、日本学校ソーシャルワーク学会東北ブロック運営委員 東北教育学会会員、日本保育ソーシャルワーク学会会員</p> <p>青森家庭少年問題研究会共同代表、弘前大学「子どもの貧困」をめぐる協働プロジェクト企画会議委員、チャイルドラインあおもり顧問、青森県BBS連盟参与</p> <p>独立型社会福祉士事務所「子どもソーシャルワーク事務所もがみ」代表 保護司</p>	